

令和5年度

グローバル体験事業

を開催

県教育委員会では、8月22日（火）～24日（木）にかけて、県立高校の生徒と外国人留学生が交流会を行う「グローバル体験事業」を開催しました。

県立水郷小見川青少年自然の家（香取市）を利用して2泊3日で行われ、当日は日本に滞在する外国人留学生等11名を迎え、県立高校17校から生徒49名が参加しました。留学生と様々な交流を通して、英語によるコミュニケーション能力を高めたり、異文化理解を深めたりすることができました。

3日間のスケジュール

1日目

- ・オープニングセレモニー
- ・留学生紹介
- ・野外炊飯
- ・チームビルディング等

2日目

- ・パラスポーツ（ボッチャ）体験
- ・留学生の母国紹介
- ・日本文化紹介
- ・留学生が日本で困ったこと
- ・プレゼンテーション準備等

3日目

- ・グループプレゼンテーション
- ・フェアウェルセレモニー

英語を第2言語とする各国の留学生と交流を行いました。

参加者の表情から、3日間にわたる様々な活動の充実ぶりが伺えました。また、留学生や仲間との別れを惜しんで涙を流す参加者の姿も見られました。

1日目

【自己紹介】



【野外炊飯】



2日目

【ボッチャ体験】



【留学生の母国紹介】



3日目

【グループプレゼンテーション】



【フェアウェルセレモニー後の様子】



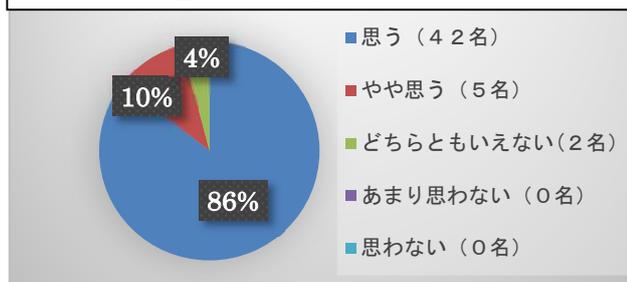
R5 グローバル体験事業



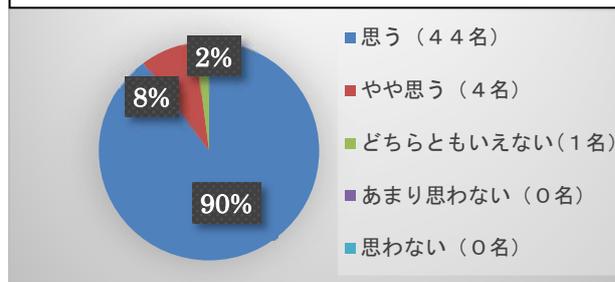
参加者の声 ～事後アンケートの結果～

- ・今までこんなに長い時間英語と触れる機会がなかったため、とても刺激的だった。
- ・他の国の人たちと英語で交流し、相手の国について知ることができたのは、とても貴重なことだったと思う。
- ・充実したプログラム内容に多様な国の留学生との交流、他の学校の生徒とのグループワークなどを通して、3日間全力で英語を話し、学び、楽しむことができた。
- ・国が違えば文化が違うのは当たり前のことなのに、シニアバディー（留学生）の話を聞いてまだまだ自分は世界のことを理解していないと痛感した。
- ・今回の参加により、周りとの英語力の差を感じ、まだまだ英語を話せないことがわかって悔しい気持ちと、もっと学んで話せるようになりたい気持ちがとても強くなった。
- ・本国と他国では文化が全く異なる事を学び、そのあり方を聞いたり話したりする事ができたが、本国の話を外国の人に伝えることは難しかった。
- ・英語ができる、できない関係なしに相手とかコミュニケーションを取ろうとするその意欲がとても大切だと学んだ。

① 3日間の活動を通して、語学力の向上につながったり、話すことへの意欲を高められたりしたと思いますか。



② 3日間の活動を通して、異文化や本国文化の理解を深められたと思いますか。



お問い合わせ先 千葉県教育庁企画管理部教育政策課 電話 043-223-4177